

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.25 2019年11月29日(金)

## 2019 9月末 学費滞納・経済的理由による中退調査 結果

9月末より全国の皆さんにご協力いただいた「2019年度9月末学費滞納・経済的理由による中退調査」の結果がまとまり、昨11月28日に記者発表をしました。

今回は30都道府県273校（高校：21.1%）、119校（中学：16.9%）からの回答を得ました。学費滞納は過去最低となりました。一方で、各県から寄せられた滞納・中退の事例では、高校生自身が「学費のために」アルバイトをしている事例が増加していました。私立高校生のアルバイトに関する記述では、「部活を辞めざるをえない」「夜までのバイトで疲れている」「睡眠時間がとれていないで始終眠そう」といった事例が増加しています。授業料のみならず、施設設備費等への補助がない限り、私学に通う子どもたちの学ぶ権利が保障されない状況です。私学助成署名、最後まで奮闘していきましょう。

（写真権利侵害初認可）

### 家計の困窮に支援追いつかず

全国私立学校教職員組合連合（全国私教連）は28日、2019年度上半期（4～9月末）の私立中高生の学費滞納と経済的理由による中退調査結果を発表しました。同調査は1998年以来毎年行い、今回が22回目。高校での3カ月以上の学費滞納生徒の割合は、回答のあった273

### 私立中高の学費滞納

全国私教連調べ

校中204校に2019年度上半期（4～9月末）の私立中高生の学費滞納と経済的理由による中退調査結果を発表しました。同調査は1998年以来毎年行い、今回が22回目。高校での3カ月以上の学費滞納生徒の割合は、回答のあった273

校中204校に2019年度上半期（4～9月末）の私立中高生の学費滞納と経済的理由による中退調査結果を発表しました。同調査は1998年以来毎年行い、今回が22回目。高校での3カ月以上の学費滞納生徒の割合は、回答のあった273

校中204校に2019年度上半期（4～9月末）の私立中高生の学費滞納と経済的理由による中退調査結果を発表しました。同調査は1998年以来毎年行い、今回が22回目。高校での3カ月以上の学費滞納生徒の割合は、回答のあった273

永島民男全国私教連委員長は、「国からの就学支援金と各自治体の減免制度の拡充で、低所得世帯の子どもたちが私立高校に入りやすくなった一方、家計の困窮に支援が追いついていない。学校、自治体間の格差も大きい」と指摘。「子ども